

TFT TABLE FOR TWO



これまで給食
93,183,005食分の
ご寄付が集まりました!



ケニア ルシンガ島・ムファンガノ島 学校給食は子どもたちのライフライン

ケニア西部のヴィクトリア湖に浮かぶルシンガ島とムファンガノ島は貧困家庭の多い地域です。島に暮らす人々の多くは漁業に従事しており、水揚げ量の多い場所を求めて沿岸を転々とする漁師もいます。そのため親戚や祖父母宅にとり残される子どもが少なくありません。大家族で少ない収入の家庭では、お粥や漁でとれた魚の残りだけという食事は日常風景です。さらに困窮が厳しい場合は、一日に確実に食べられるのは給食だけという子どもたちもいます。

ケニアでは主食のトウモロコシ粉や植物油の価格が高騰しており、食費を賄うだけで精一杯で、学費が払えない家庭も出てきています。



あの子の
テーブル



週2回はトウモロコシや豆を煮たギゼリが提供されます。ギゼリはケニア山麓の部族の伝統料理ですが、今ではケニア全土で食べられています。茹でた豆とトウモロコシを炒めたトマトと玉ねぎのソースに加え、柔らかくなるまで煮ます。豆のタンパク質とトウモロコシの炭水化物が一緒にとれ、ケニアの昼食の定番メニューの一つです。

ケニア
ルシンガ島
ムファンガノ島



日本
静岡
東京

世界を繋ぐ ひとつの テーブル

わたしの一食が、
あの子の一食になる。



わたしの
テーブル



ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社(SGMO)4サイトの社員食堂では、世界食料デーにちなんだキャンペーンを実施しました。精算時に寄付ができる「TFTスティック」を特設ブースに置いて社員の参加を促し、5日間で約400食の寄付を集めました。



ケニアのトウモロコシはメイズまたはマヒンディと呼ばれ、食事に欠かせないものです。粉にしてウガリとして食べる以外にも、安価で手頃な昼食となる焼メイズが道端で売られています。メイズは日本で食べるスイートコーンと比べて表皮が白く固く、淡泊な味がします。

特集ページでは、より詳細な内容をご紹介します



Kenya

Japan

TABLE FOR TWO は開発途上国の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病の解消に同時に取り組む、日本発の社会貢献運動です。

©TABLE FOR TWO International



東洋製罐グループホールディングス株式会社では、食堂委託しているLEOCと協力し、「おにぎりアクション」応援企画として1週間おにぎりを販売。販売数に応じた金額をTFTに寄付しました。社内告知することで従業員が「世界食料デー」や「おにぎりアクション」を知るきっかけにもなりました。